

荻窪病院だより

医療法人財団 荻窪病院 広報誌

2019年3月29日発行

発行責任者:村井 信二

企画/編集/印刷 地域連携室

〒167-0035

東京都杉並区今川 3-1-24

代表 TEL:03-3399-1101

地域連携室直通:03-3399-0257

新年度 ごあいさつ

さらに多くの患者さんを受けられるよう 日帰り手術センターの増設など 急性期機能を拡張してまいります

地域医療支援病院としての
役割を果たすために

2019年度の当院の大きな取り組みとして、一つは病院機能の拡大プロジェクトがあげられます。これは、地域医療支援病院として、さらに多くの患者さんの受け入れができるよう行うものです。まず地下1階に「日帰り手術センター」を設置し、局部麻酔の日帰り手術はこちらでできるようにし

ます。白内障や皮膚、手指の手術を始め、今まで入院で対応していた短期滞在の手術を安全に日帰り手術に移行します。こうすることで2階にある既存の手術室の「枠」と、ベッドの「空き」が生まれ、緊急手術や入院の必要な重症患者さんをさらに受け入れられるようになります。

チーム力をさらに磨き
業務改善を推進



現在、西部地区（新宿・中野・杉並区）には脳血管疾患に対応できる2次救急病院が少なく、脳卒中など脳血管疾患の救急医療を提供できることが、地域医療支援病院となった我々の使命と考えます。今回のプロジェクトはそのための準備となるわけです。また、リハビリテーション室、化学療法室を7階に移し、明るく眺めのよい環境で快適に医療を受けていただけるようにします。この一連の工事は今年の10月に終了する予定です。（詳細は裏面をご覧ください）

もう一つは院内の業務改善です。折しも4月に働き方改革関連法案が施行され、残業時間に上限が課されるようになりました。各部署が本当に必要な業務、そうでない業務の見直しをして、時間内に仕事が終わるようスタッフ各自が意識改革をしていく必要があります。当院では早くから医師事務作業補助者（メディカルアシスタント MA）を導入し、書類作成やカルテ代行入力などの医師の事務作業をMAに託してきました。こうした「タスクシフト・タスクシエア」もスタッフ間でさらにを行い、チーム力を上げながら、地域の皆さんによりよい医療を提供していきたいと思えます。

村井 信二
理事長・病院長・外科部長



荻窪病院は
地域医療に
貢献します

理念

患者さんへ安心して信頼される医療を提供します。
職員へやり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。

基本方針

1. 急性期医療に全力で取り組み、地域社会に貢献します。
2. 個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた患者さん中心の医療を提供します。
3. 豊かな人間性と優れた技能を有する医療人の育成に努め、活力のある病院づくりをします。
4. 経営の健全化に努め、質の高い医療を地域に提供し続けます。

